

講 義 名	＜学科＞ 三年次後期 燃料・潤滑剤				
概要と目的	国家試験レベルの知識を身に付ける				
担 当 者	鎌田 喜行	単位数	4 時限	区分	学科
実務経験	カーディーラー等の整備工場において自動車整備の実務を経験した教員が燃料・潤滑剤について教育を行う科目。				
講義対象	三年生	時 期	9月下旬～3月		
使用教材	プリント				
到達目標	二級燃料・潤滑剤の復習と一級口述試験説明知識の習得				
成績評価	期末試験・出欠点・平常点 A評価:185～200点、B評価:170～184点、C評価:160～169点を基準とする。				
授業計画					
1	燃料の引火点、発火点、ガソリンの性状、燃料の精製、蒸留調合				
2	軽油の性状、オイルの粘度、性状、作用、潤滑の状態				
3	グリースの性状、ブレーキ液の性状、不凍液の性状				
4	期末試験				
伝達事項等					
校長	所 属			授業資格	実務経験
	学科長	担当者		学科実習 あり	あり